

事務事業名	小学校施設整備事業			事業コード	10020110101
所管部署	教育施設整備課	電話	50-3166	記入者名	松本 隆
事業対象	児童、教職員、施設利用者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	学校教育の充実		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事設計業務、工事監理業務
根拠法令	有	学校教育法、小学校設置基準、地震防災対策特別措置法、建築物の耐震改修の促進に関する法律、建築基準法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	小学校施設整備計画			

【事業の概要】

児童等の安全を確保する必要があること及び災害時には地域の防災拠点（避難場所）となることから、構造上危険な建物の耐震性能の向上を図ります。
また、経年使用による損傷の改修、機能低下・用途変更に対する復旧・対応措置及び多様な学習需要等に対応できる施設整備等を行うことにより、教育・生活環境の維持・改善など学習施設環境の充実に努めます。

小学校施設整備計画に基づき、長畝小学校、平章小学校及び東十郷小学校の校舎の耐震補強改修工事を実施するほか、屋内運動場の照明器具等落下防止対策工事及び災害時の飲料水の確保を目的に、受水槽に緊急遮断弁及び給水装置を設置いたします。
平成27年度工事予定の兵庫小学校及び木部小学校の校舎の耐震補強計画・実施設計、施設の更なる安全性の向上を図るために、屋内運動場等に設置してある特定天井等の落下防止対策に係る実施設計及び夏場の暑さ対策を目的とした空調設備設置工事に係る実施設計を行います。
国の経済対策を受けて、平成26年度に予定していた平章小学校、東十郷小学校及び大関小学校の校舎の耐震改修工事を前倒しして着工いたします。

長畝小学校南校舎耐震補強工事	112,050,650円
平章小学校東校舎耐震補強工事	94,288,950円
東十郷小学校南校舎耐震改修工事	276,713,800円
緊急遮断弁設置工事（8校）	10,196,000円
屋内運動場照明器具等落下防止対策工事（4校）	766,500円
兵庫小学校校舎耐震補強計画・実施設計	6,247,500円
木部小学校校舎耐震補強計画・実施設計	6,142,500円
吊り天井等落下防止対策工事実施設計	1,587,600円
空調設備設置工事実施設計（17校）	5,722,000円

（H25繰越事業）

平章小学校校舎耐震改修工事	206,322,000円
東十郷小学校校舎耐震改修工事	271,578,000円
大関小学校校舎耐震改修工事	216,600,000円
吊り天井等落下防止対策工事	73,949,000円

予算	款	教育費	項	小学校費	目	学校管理費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円			
			委託費	26,459千円	16,968千円	千円	千円			
			需用費	千円	千円	千円	千円			
			役務費	50千円	186千円	千円	千円			
			その他	487,997千円	657,836千円	千円	千円			
	事業費合計	514,506千円	674,990千円	千円	千円					
	人件費	正職員	0.00人	千円	3.53人	25,095千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.00人	千円	3.53人	25,095千円	人	千円	人	千円
	総事業費	514,506千円	700,085千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	155,802千円	196,298千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
			地方債	258,900千円	430,800千円	千円	千円			
その他			67,946千円	41,511千円	千円	千円				
一般財源			31,858千円	31,476千円	千円	千円				
財源合計	514,506千円	700,085千円	千円	千円						

【事業の成果】	成果	耐震化率	%	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度				
				目標値	89.0	達成率	85.4	達成率	80.5	達成率	75.6	達成率
	実績値	89.0	100	85.4	100	80.5	100	75.6	100			
	成果	耐震化完了学校数	校	目標値	11	達成率	10	達成率	7	達成率	7	達成率
				実績値	11	100	10	100	7	100	7	100
	活動	耐震補強工事実施済棟数	棟	目標値	33	達成率	30	達成率	26	達成率	22	達成率
				実績値	33	100	30	100	26	100	22	100
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値									

すぐにできる改善提案	耐震補強と併せて、老朽化した設備等の必要な改修を実施します。校舎の工事には、工事の実施時期や工事期間などから仮設校舎が必要となりコストの増加が懸念されませんが、工事手法等の検討とコスト低減に努めるとともに、国の有利な補助制度を活用するなど、財政状況を勘案しながら事業の進捗を図ります。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	工事手法等の検討により、長畝小学校では仮設校舎を設置せず、コストの低減に努めました。国の経済対策による交付金を有効活用して、事業の推進に努めました。
中長期的に取り組むべき改善提案	工事を行う場合には、各種法令の適合が必要なため、担当職員には専門的知識等を習得して行くようにします。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	専門的知識の取得のため、積極的に技術研修会に参加しました。

【前年度改善案に対する取組状況】	妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
		【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
【担当者評価】	効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
		【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	平成27年度での全学校の耐震化を完了するため、必要な改善に努めながら事業を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	学校施設の整備は、法令で設置者が行うことと定められていますので、現状どおり実施します。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	国の進める「好循環実現のための経済対策」「労務単価の適切な水準確保」「適切な資材単価の適用」等に呼応し、あるいは市独自の地元業者育成策を進める上で既に設計の終わっている事業の費用の増加は止むを得ないところですが、国の経済対策に対応することによる補助金増額の確保の他、合併特例債または、国の行う経済対策等に連動する有利な起債を取捨選択することで、実質的な市の負担の軽減に努めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	建築工事は、多種多様な業種で形成され、その監理業務には専門的知識と経験が必要とされます。計画に従い事業を展開して行くにはさらなる人員の増加が必要ではありますが、坂井市定員適正化計画に基づき現状を維持します。			
すぐにできる改善提案	改修・改善の実施設計を進める中で、現状をよく把握し、創意と工夫さらには必要な改善のみを計画することにより建設コストの低減に努めます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	工事の品質確保のため、担当職員はより積極的に専門知識等の取得に努め、工事監理職務等の能力向上を図ります。			
目標年度 平成27 年度				

【前年度改善案に対する取組状況】	
【担当者評価】	
【所属長評価】	

事務事業名	中学校施設整備事業			事業コード	10030110101																					
所管部署	教育施設整備課	電話	50-3166	記入者名	松本 隆																					
事業対象	生徒、教職員、施設利用者																									
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）																					
	基本計画	学校教育の充実		事業種別	ハード事業																					
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事設計業務、工事監理業務																					
根拠法令	有	学校教育法、中学校設置基準、地震防災対策特別措置法、建築物の耐震改修の促進に関する法律、建築基準法																								
根拠例規	無																									
関連計画・マニュアル	有	中学校施設整備計画																								
事業の概要	生徒等の安全を確保する必要があること及び災害時には地域の防災拠点（避難場所）となることから、構造上危険な建物の耐震性能の向上を図ります。 また、経年使用による損傷の改修、機能低下・用途変更に対する復旧・対応措置及び多様な学習需要等に対応できる施設整備等を行うことにより、教育・生活環境の維持・改善など学習施設環境の充実に図ります。																									
	中学校施設整備計画に基づき、春江中学校北校舎の耐震補強・改修工事、グラウンド整備工事及び丸岡中学校の南校舎の耐震補強・改修工事を実施するほか、夏場の暑さ対策を目的とした空調設備設置工事、災害時の飲料水の確保を目的とした受水槽緊急遮断弁及び給水装置設置工事を行います。 三国中学校の耐震補強・改修工事に係る実施設計、空調設備設置工事に係る実施設計及び屋内運動場等に設置してある特定天井等の落下防止対策に係る実施設計を行います。 国の経済対策を受けて、平成26年度に予定していた丸岡中学校の北校舎（屋内運動場の天井改修含む）及び三国中学校の南校舎、屋内運動場の耐震改修工事を前倒して着工いたします。																									
	<table border="0"> <tr> <td>春江中学校耐震補強・改修工事</td> <td>573,195,000円</td> </tr> <tr> <td>春江中学校グラウンド整備工事</td> <td>54,495,000円</td> </tr> <tr> <td>丸岡中学校耐震補強・改修工事</td> <td>686,882,700円</td> </tr> <tr> <td>受水槽緊急遮断弁設置工事（坂井中学校）</td> <td>1,459,000円</td> </tr> <tr> <td>空調設備設置工事（三国中学を除く4中学校）</td> <td>161,671,650円</td> </tr> <tr> <td>三国中学校耐震実施設計</td> <td>20,212,500円</td> </tr> <tr> <td>空調設備設置工事実施設計</td> <td>1,921,500円</td> </tr> <tr> <td>吊り天井等落下防止対策工事実施設計</td> <td>302,400円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">（H25繰越事業費）</td> </tr> <tr> <td>丸岡中学校耐震補強・改修工事</td> <td>549,629,000円</td> </tr> <tr> <td>三国中学校耐震補強・改修工事</td> <td>1,049,171,000円</td> </tr> </table>					春江中学校耐震補強・改修工事	573,195,000円	春江中学校グラウンド整備工事	54,495,000円	丸岡中学校耐震補強・改修工事	686,882,700円	受水槽緊急遮断弁設置工事（坂井中学校）	1,459,000円	空調設備設置工事（三国中学を除く4中学校）	161,671,650円	三国中学校耐震実施設計	20,212,500円	空調設備設置工事実施設計	1,921,500円	吊り天井等落下防止対策工事実施設計	302,400円	（H25繰越事業費）		丸岡中学校耐震補強・改修工事	549,629,000円	三国中学校耐震補強・改修工事
春江中学校耐震補強・改修工事	573,195,000円																									
春江中学校グラウンド整備工事	54,495,000円																									
丸岡中学校耐震補強・改修工事	686,882,700円																									
受水槽緊急遮断弁設置工事（坂井中学校）	1,459,000円																									
空調設備設置工事（三国中学を除く4中学校）	161,671,650円																									
三国中学校耐震実施設計	20,212,500円																									
空調設備設置工事実施設計	1,921,500円																									
吊り天井等落下防止対策工事実施設計	302,400円																									
（H25繰越事業費）																										
丸岡中学校耐震補強・改修工事	549,629,000円																									
三国中学校耐震補強・改修工事	1,049,171,000円																									

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

予算	款	教育費	項	中学校費	目	学校管理費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	35,809千円	52,437千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	338千円	1,027千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,511,188千円	2,114,926千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	1,547,335千円	2,168,390千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.00人	千円	3.28人	23,318千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.00人	千円	3.28人	23,318千円	人	千円	人	千円
		総事業費	1,547,335千円	2,191,708千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費	特定財源	国県支出金	269,753千円	479,482千円	千円	千円	千円	
使用料・手数料			千円	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金	千円		千円	千円	千円	千円				
地方債	830,100千円		1,369,700千円	千円	千円	千円				
その他	192,606千円		39,527千円	千円	千円	千円				
一般財源	254,876千円		302,999千円	千円	千円	千円				
財源合計	1,547,335千円	2,191,708千円	千円	千円	千円					

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	耐震化率	%	目標値 80.6 達成率 71.4	目標値 80.6 達成率 71.4	目標値 60.7 達成率 60.7	目標値 53.6 達成率 53.6
			実績値 80.6 100	実績値 71.4 100	実績値 60.7 100	実績値 53.6 100
成果	耐震化完了学校数	校	目標値 2 達成率 1	目標値 2 達成率 1	目標値 1 達成率 1	目標値 0 達成率 0
			実績値 2 100	実績値 1 100	実績値 1 100	実績値 0 100
活動	耐震補強工事実施済棟数	棟	目標値 7 達成率 5	目標値 7 達成率 5	目標値 2 達成率 2	目標値 0 達成率 0
			実績値 7 100	実績値 5 100	実績値 2 100	実績値 0 100
			目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率
			実績値	実績値	実績値	実績値
			目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率
			実績値	実績値	実績値	実績値
			目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率
			実績値	実績値	実績値	実績値

すぐに行ける改善提案	基本設計及び実施設計については、各学校の検討委員会の意見をできるだけ取り入れ、リノベーションによる再生計画を考慮しながら、耐震補強・大規模改修の整備計画を作成します。工事手法等の検討とコスト低減に努めるとともに、国の有利な補助制度を活用するなど、財政状況を勘案しながら事業の進捗を図ります。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	学校の先生方や保護者の方々の意見を取り入れながら設計を進めました。工事手法等の検討によりコストの低減に努めました。国の経済対策による交付金を有効に活用して、事業を進めました。
中長期的に取り組むべき改善提案	学校施設の工事を行う場合、各種法令への適合が必要なため、担当職員には専門的知識等を習得していくようにします。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	専門的知識の取得のため、積極的に技術研修会に参加しました。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	平成27年度での全学校の耐震化を完了するため、必要な改善に努めながら事業を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	学校施設の整備は、法令で設置者が行うことと定められていますので、現状どおり実施します。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	国の進める「好循環実現のための経済対策」「労務単価の適切な水準確保」「適切な資材単価の適用」等に呼応し、あるいは市独自の地元業者育成策を進める上で設計の終わっている事業の費用の増加は止むを得ないところですが、国の経済対策に対応することによる補助金増額の確保の他、合併特例債または、国の行う経済対策等に運動する有利な起債を取捨選択することで、実質的な市の負担の軽減に努めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	建築工事は、多種多様な業種で形成され、その監理業務には専門的知識と経験が必要とされます。計画に従い事業を展開して行くにはさらなる人員の増加が必要ではありますが、坂井市定員適正化計画に基づき現状を維持します。			
すぐに行ける改善提案	改修・改善工事を進める中で、現状をよく把握し、部品、製品の再利用等にも努め、建設コストの低減に努めます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	工事の品質確保のため、担当職員はより積極的に専門知識等の取得に努め、工事監理職務等の能力向上を図ります。			
目標年度 平成27 年度				